

「泉佐野市庁舎周辺整備基本計画書（案）」に対するパブリックコメントの結果報告

- 1 実施日 令和5年2月22日～令和5年3月13日
- 2 実施方法 市ホームページ
- 3 応募数 5件
- 4 ご意見及び回答

整理番号		ご意見等	回答
1	庁舎新館と本館の接続性について	<p>現状本館でのWC前の空間などで、天井高が低くて、視線が遮られることが気になる。</p> <p>原因としては、RC梁を空調ダクトがくぐることで天井を下げざるを得なかったと推測するが、新館は単純に本館と階高合わせをした接続ではなく、天井高を十分確保し、本館と接続する設計としてもらいたい。</p>	<p>庁舎本館と新館及び立体駐車場との動線についてはスムーズな移動ができるなど、快適な公共空間を目指し、基本設計において検討していきます。</p>
2	駐車場台数計画について	<p>駐車場台数の設計について、どのように設計をしているのか。特に、来庁者用の車室については、必要台数を満たした設計になっているのか疑義がある。整備台数の設計方法も公表いただきたい。</p>	<p>来庁者駐車場の車室は幅 2.5m、奥行 5mで計画しており、立体駐車場において 162 台を確保しています。</p>

整理 番号		ご意見等	回 答
3	駐車場台数計画について	<p>公用車駐車場については、まず公用車の所有台数の見直しが可能であるとする。公用車にカーシェアリングサービスを導入し、必要な時に必要な台数を確保することで、所有すべき公用車台数を見直すことができる。また、市役所駐車場にカーシェアリングサービスを導入することで、観光客、地域住民等と兼用で車両をできるようにすることで、効率的な運営及び地域住民サービスを提供できるのではないかと考える。</p>	<p>公用車の稼働率は 90%を超えており、慢性的に公用車が不足している状況です。カーシェアリング導入による公用車不足の解消を図っていくご提案については、費用対効果を考え、今後の検討課題といたします。</p>
4	立体駐車場計画	<p>立体駐車場計画において以下の意見を述べる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本庁舎との接続がよいフロア(1階、2階)を来庁者駐車場とする方がよい。 ・本庁舎との移動動線については、安全性と視認性を高くする必要があり。 ・立体駐車場の駐車台数を考慮して、エレベーターの設置台数は検討する必要があります。 ・各フロアの車室にはゆとりを持たせ、駐車しやすい車室にする必要があります。 ・将来的な配置転換が可能とすべく、可変的な設計を検討することをご提案します。 ・駐車場管制機器については、社会全体の DX 化等に柔軟に対応できるようにすることが必要です。 	<p>用途規制により2階以下の制限となるため、2階3層の立体駐車場を計画しています。公用車は劣化予防の為、屋根有の1階部分とし、来庁者は2階及びR階としています。本館へは連絡通路を設け来庁者の利便性を図っており、また安全性や本館への動線ルート及び導入機能については、基本設計において検討していきます。</p>

整理 番号		ご意見等	回 答
5	その他	<p>次回本庁舎更新は、30年後以降と考えるが、「泉の森」ホール前の池の部分に建設することも検討範囲としてほしい。場合によっては、池の上部空間を利用して、その上に建つ市庁舎というイメージも可能かとも考えられるので、庁舎更新時の庁舎敷地範囲を拡大して検討してみてもどうか。</p>	<p>将来の本庁舎の建替え時期には、泉の森ホールの老朽化状況や周辺状況を踏まえ、最も有効で効率的な方法を検討し計画していきます。</p>